

農林水産大臣賞

ゆめほたる

にーぜろいちろく

まくらざき

夢蛭たぶがわ2016（鹿児島県 枕崎市）

地域住民の自治意識を高め、他地域との交流、教育・文化の振興と活力向上による、ぬくもりにみちた自然豊かな地域づくり

1. 地区の概要

枕崎市田布川地区は、薩摩半島南端の枕崎市北部に位置し、集落中心部を二級河川が流れ、河川に沿うように水田が連なり、集落周辺の丘陵地は区画整理された畑地帯で、その周りを山地が取り囲む自然豊かな地域である。昨今は、高齢化・過疎化が進み、地域の活力低下や農地の荒廃化など多くの課題を抱えている。

2. 団体の概要

地域は自分たちで守っていききたいという地元住民の有志11名で構成され、集落営農組織である「くらたの里田布川」と、買物弱者対策等の生活支援を担う「株式会社輝楽里たぶがわ」の3者が連携して、伝統行事の継承や地域イベント等、様々な企画の実施や農用地保全の共同作業などを通して、地域課題の解消に取り組み、田布川地区の住民の生活を支えている。

3. 団体の取組み

荒廃農地・遊休農地の増加を防ぐために、遊休農地にコスモスなどの景観作物を植栽する活動を実施。また、養蜂農家及び行政の協力を得て、遊休農地を活用した蜜源作物（赤ソバ）の栽培による粗放的な管理に取り組むなど、農地や農村環境の持続的な維持に貢献。

水田部の耕作放棄地ではオーナーを募り、植付け・収穫等に係る管理費の出資を条件に、収穫された米を出資者に渡すなど、水田部一帯の荒廃防止だけではなく、現耕作者の水利管理や病害虫防除の作業軽減、地産地消に繋がる仕組みを構築。

ビオトープを整備し、蛭を復活させ、毎年近隣の小学校による見学や校外授業の場として活用する他、鬼火焚きや、ホタルと音楽が楽しめる夢蛭コンサートを実施し、交流人口の増加、魅力を発信するなど、若者たちの新しいコミュニティづくりを促進。

生活面では、団体メンバーの出資で立ち上げた「株式会社輝楽里たぶがわ」が商店等の生活サービス機能がなくなっていた地区内に購買店舗を設置し、高齢者宅への配達なども含め、買い物弱者へ支援する仕組みを構築。購買店舗は、地域住民のコミュニティの場としても利用されている。



小学生がビオトープを見学する様子



購買店舗で買い物する様子



鬼火焚きイベント